

大利木材株式会社

徳島県徳島市

生産性向上

需要獲得

担い手確保

ものづくり

サービス

ポイント

特産の藍を活用した藍染建材、木製品で、「ジャパンプルー」を徳島から世界に発信！

- シンガポールのアンテナショップを拠点に藍染建材、藍活用木製品の海外展開に取り組む
- 地域資源の藍と杉を活用した藍染建材を開発し、県産材の需要拡大にも貢献をしている
- 地域の中小企業と協業し、藍を活用した多様な製品を開発し、新たな顧客の開拓に繋げている

企業基本情報

所在地	徳島県徳島市津田海岸町 7-68
電話/FAX	088-662-5505/088-663-4050
URL	http://www.dairinet.com/
代表者	代表取締役 小濱 孝彦
設立	1959年
資本金	2,000万円
従業員数	21人



会社概要

原木・木材製品販売、2x4部材・在来パネル加工販売、フローリング、住宅部材の製造・販売を主な業務としている。近年、県産材の活用として、徳島県の地域資源である藍を塗料として活用した藍染杉を開発。床、壁等の内装材として製造販売しているほか、新分野として、藍を活用した雑貨の開発にも取り組んでいる。また、シンガポールに販売代理店を設けるなど海外展開にも積極的に取り組んでいる。



会社イメージ

革新的な製品開発や創造的なサービスの提供に関する取組の内容

シンガポールのアンテナショップを軸に海外展開を加速

シンガポールの企業と販売代理店契約を結び、藍染建材やインテリア照明、文具等の生活小物を展示販売するアンテナ店を現地に於いて開業。また、台湾においても代理店展開が進行中で台湾科技大学内の木造建築物に施工された事例を基に台北設計建材中心や、8月に台北世界貿易センターで開催の展示会「Touch the Japan」にてクールジャパンアワード2017の採択作品発表に合わせ、展開を計画している。



シンガポールに開設されたアンテナショップ



台湾科技大学内での施工事例 台北設計建材中心
海外アンテナショップ

地域資源の藍を活用した藍染建材を開発し、県産材の需要拡大

古くから藍の一大産地である徳島の藍は「阿波藍」と言われ、藍染原料として世界的に高い評価を受けている。同社は、独自に藍の木材塗料を開発し、地域資源の「徳島すぎ」に活用することで、新たな建材「藍染杉」を商品化した。「和モダン」な和・洋に使用できる建材として、公共施設や民間の事務所、店舗、住宅の内装材として採用され、県産材の需要拡大に貢献している。また、地域中小企業と協業し、藍を活用した木製品等を開発し、子会社「AOLA」ブランドで国内外に販売している。



施工例

藍を活用した多様な商品展開で、新たな顧客を開拓

建材以外にも地域の中小企業と協業し木製品（インテリア小物等）の開発にも取り組んでおり、航空会社主催のイベントで「クリエイティブアワード」へ藍染木製酒器をエントリーし入賞するなど、新たな取組にも挑戦している。さらに、藍染の木製品を拡販するため、企画開発・製造を手掛ける子会社「AOLA」を立ち上げ、独自性とともにデザイン性も重視し、高級路線で国内外に売り込むこととしている。身近な生活雑貨で再認識してもらうことで、藍染建材への需要拡大にも繋げていく。



AOLAデナージュLED
AOLAピアンプルー
開発新製品